

「コロナ禍」の自粛で



「失った貯筋」と「体力の低下」は

スポーツ活動で取り戻しましょう

阿賀野市スポーツ協会
会 長 井 上 易 喜

日頃より、市ご当局はじめ賛助会員の皆様並びに各競技団体の方々には、本協会の運営や各種事業等に多大なるご理解、ご協力を賜り心から感謝申し上げます。

また、各競技団体、スポーツ少年団の指導者の皆様方には、スポーツ活動を通じて、競技力の向上や阿賀野市のスポーツ振興、青少年の健全育成等にご尽力いただき、厚くお礼申し上げます。

さて、令和2年度当協会の総会は、新型コロナウイルス感染拡大の深刻な事態が続いていたため、会員の皆様はじめ総会出席者の方々の健康や安全面等を考慮して、総会の開催を中止し、書面議決とさせて頂きました。

その書面議決により、令和元年度の決算や令和2年度の事業計画案、予算案をご承認頂いております。

また、今年度は役員の改選期にありましたが、前期に引き続き、会長の職を拝命させて頂くことになりました。

微力ではございますが、会員各位のご理解、ご協力を頂き、当協会の発展と阿賀野市のスポーツ振興等に努力してまいる所存でありますので、これから2年間よろしくお願い申し上げます。

ところで、世界中で猛威を振るっている新型コロナウイルスは、1月初めに中国の武漢市で確認されてから、瞬く間に世界中に拡大しています。

この新型コロナウイルスの感染拡大は、戦後最大の経済危機、人類の危機ともいわれ、世界・日本の経済活動や私たちの日常生活に深刻な影響を与えております。

スポーツ界においても、7月24日に開幕予定であった「2020東京五輪」は1年延期になっておりますが、その影響はプロスポーツだけでなく、アマチュアスポーツにも広がっています。

特に中・高校生の「部活動の集大成の場」「五輪に匹敵する夢舞台」である全中やインターハイ・春の高校野球や夏の甲子園も中止になっています。

このような中、5月25日に緊急事態宣言が解除となっており、プロ野球は6月19日から開幕し、サッカーJ1は、7月4日から再開しております。

また、中・高校生の全国大会が中止となっていますが、その代替となる地方大会も開催に向けて、準備が進められています。

当阿賀野市においても、5月19日から屋内運動施設の休館解除を契機に、各競技団体、スポーツ少年団活動が再開され、久しぶりに子どもたちの元気な声がグラウンドや体育館に響き渡っております。

そして、6月14日には、スポーツ協会の先陣を切って、市内のゲートボール大会も開催されております。

このように、暗いトンネルの先に少しずつ光明が見えてきておりますが、市民の皆さんには、コロナウイルス感染防止の長い自粛により、ストレスの増加や体力の低下なども懸念されています。

このため、3密(密閉・密集・密接)を基本とした「新しい生活様式」に配慮しながら、意識的にスポーツ活動に取り組んで頂き、健康の保持・増進に努めて頂きたいと思っております。

また、7月に入っても東京を中心に感染者が増えており、コロナウイルスの脅威は続いておりますが、今年の「スポーツ協会だより」が市民の皆様のお手元に届くころ、この感染が少しでも終息に向かっていることを念願しております。

このように、厳しい状況ではありますが、これからも市ご当局はじめ関係団体と一層連携を密にして、阿賀野市のスポーツ振興、そしてスポーツ活動を通じて青少年の健全育成と地域の活性化に努めていく所存でありますので、市民の皆さんはじめ関係各位の皆様方には、今後とも引き続きご支援、ご協力をお願い申し上げ、あいさついたします。